

## 目 次

|                      |    |
|----------------------|----|
| 1. 平成23年川越市入込観光客数の概要 | 2  |
| 2. 観光アンケート調査の統計・分析   | 3  |
| 2-1. 観光アンケート調査の趣旨    | 3  |
| 2-2. 観光アンケート調査の方法    | 3  |
| 2-3. 観光アンケート調査の結果    | 5  |
| 2-3-1. 出発地           | 5  |
| 2-3-2. 性別            | 10 |
| 2-3-3. 年齢            | 10 |
| 2-3-4. 同行者           | 11 |
| 2-3-5. 交通手段          | 12 |
| 2-3-6. 滞在期間          | 12 |
| 2-3-7. 宿泊観光客         | 13 |
| 2-3-8. 観光時間          | 15 |
| 2-3-9. 来訪回数          | 15 |
| 2-3-10. 認知方法         | 16 |
| 2-3-11. 立ち寄り観光地      | 17 |
| 2-3-12. 交通費          | 18 |
| 2-3-13. 宿泊費          | 18 |
| 2-3-14. 飲食費          | 19 |
| 2-3-15. 入館料・入場料      | 19 |
| 2-3-16. お土産品購入費      | 20 |
| 2-3-17. 要望           | 21 |
| 2-3-18. 意見・感想        | 22 |
| 3. 観光消費額             | 23 |

## 1. 平成23年川越市入込観光客数の概要

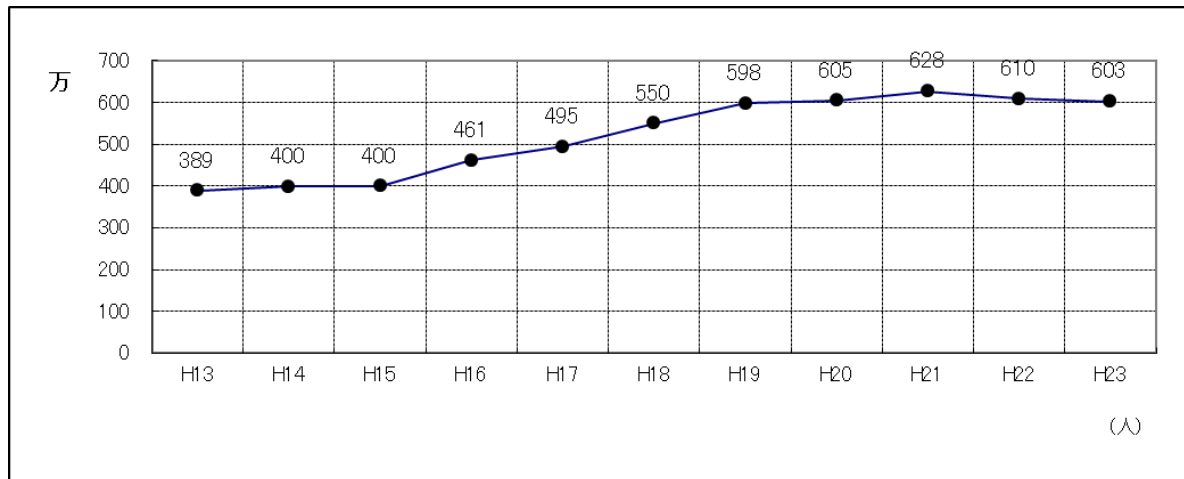
平成23年に川越を訪れた観光客数は602万7千人だった（外国人観光客含む）。前年に比べ7万人の減少（▲1.1%）となった。

東日本大震災の発生した昨年3月の入込観光客数は、カウント調査（喜多院、時の鐘、菓子屋横丁、伊佐沼、伊佐沼公園、蓮馨寺（呑龍デー）、成田山川越別院（蚤の市）の7か所で実施）と4館入館者数（市立博物館、市立美術館、蔵造り資料館、川越城本丸御殿、川越まつり会館）のいずれの結果も、前年同月比で5割近い減少となったが、その後は回復傾向も見られた。また、平成23年に開催を予定していた小江戸川越春まつりが、震災の影響により中止となったものの、川越城本丸御殿の改修工事が終わったことや、平成21年は中止となった小江戸川越花火大会が開催されたこと、NHK大河ドラマ「江」による喜多院への誘客効果等の要因から、結果としては、昨年より微減という結果となった。

また、市内の主要な観光地では、時の鐘と菓子屋横丁が前年に比べ減少となった。時の鐘は前年比で1.2%（5,990人）の減少、菓子屋横丁は前年比で1.0%（4,304人）の減少という結果だった。一方で、喜多院については、NHK大河ドラマ「江」の放送もあったことで、前年比で33.8%（107,863人）の増加となった。

※川越市入込観光客数は暦年で調査を実施。

（表1） 過去10年間の川越市入込観光客数



また、平成23年に川越を訪れた外国人観光客は25,000人となり、前年比で17,000人減少した（40.5%の減少）。

主な要因としては、東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所の事故や円高の影響等が考えられる。また、日本政府観光局（JNTO）発表の国全体の訪日外客数が前年比で27.8%の減少となっており、川越市の外国人入込観光客数についても、同じく減少となった。

## 2. 観光アンケート調査の統計・分析

### 2-1 観光アンケート調査の趣旨

観光アンケート調査は、観光客一人一人に対する聞き取りによるもので、その結果を基に、観光客の出発地、アクセス方法、立ち寄り観光地、観光消費額など、観光客の基本的な動態を把握することを目的としている。

これまでに、平成 17 年（標本数：9,924 件、調査期間：平成 17 年 1 月～平成 17 年 12 月）、平成 19 年（標本数：7,491 件、調査期間：平成 19 年 1 月～平成 19 年 12 月）、平成 20 年度（標本数：9,341 件、調査期間：平成 20 年 4 月～平成 21 年 3 月）、平成 21 年度（標本数：6,197 件、調査期間：平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月）、平成 22 年度（標本数：6,243 件、調査期間：平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）と当調査を実施してきた。

当調査の実績に基づき、平成 23 年度も同様の調査を行うことによって、経年の変化を把握するとともに、観光客の特性を分析することによって今後の観光振興策の重要な資料とする。

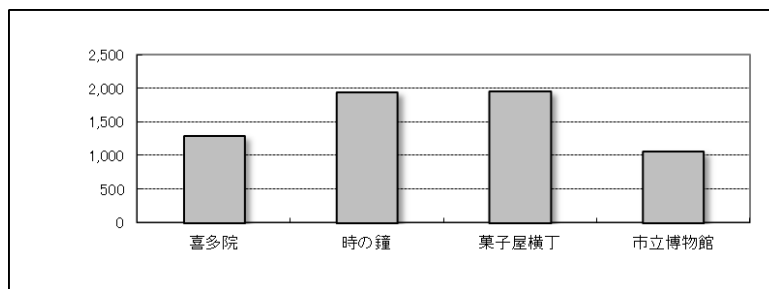
### 2-2 観光アンケート調査の方法

平成 23 年 4 月から平成 24 年 3 月までの 1 年間を調査期間とし、主要観光地点 4 ヶ所において、各地点を訪れる観光客に対し、聞き取りによる計 6,283 件の観光アンケート調査を実施した。

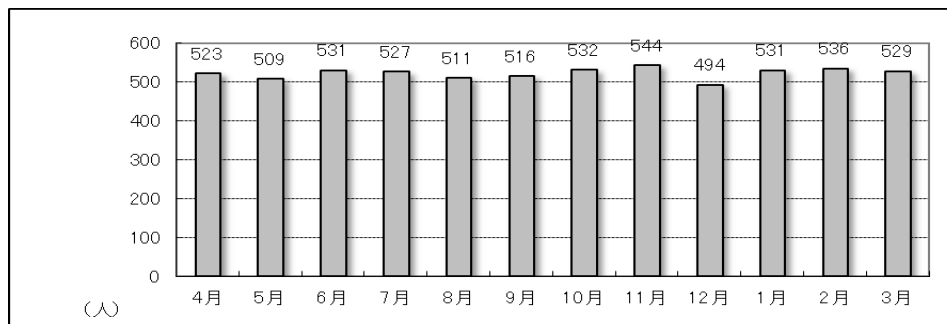
アンケート調査地点および各地点の聞き取り件数は（図 1）のとおりである。

また、（図 2）のとおり、6,283 件のアンケート調査に偏りが出ないように、月毎に調査を実施している。

（図 1） 観光アンケート調査地点と聞き取り件数



（図 2） 各月の観光アンケート調査数



※なお、回答結果については、百分率（％）で表示しているものもあるが、小数点第 2 位で四捨五入しているため、その数値の合計は 100％を前後する場合がある。

(参考) 実際に使用した観光アンケート調査表

(表)

**川越市観光アンケート調査票**

※調査員の方へ★  
アンケートの際は、右の地点、年、月、日の欄を最初にご記入し、問1以降は該当する項目を記入してください。右欄が空欄の場合は記入しなくても構いません。

問1 お住まい、性別、年齢をお教えください。  
(1) 都道府県名 ( ) (海外の方は国名)  
〒 市 区 町 村 名 ( )

① 男性 ② 女性  
③ ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60歳以上

問2 どなたといらっしゃいましたか。(ひとつだけ)  
①ひとり ②夫婦 ③子供連れ家族  
④その他家族(両親や兄弟など) ⑤友人知人 ⑥仕事仲間  
⑦地域の団体 ⑧学校の団体 ⑨その他

問3 川越までの主な交通手段は何ですか。(ひとつだけ)  
※複数の交通手段を利用している場合は、最後にご利用した交通手段  
①JR線 ②東武線 ③西武線 ④路線バス・タクシー  
⑤観光バス ⑥自家用車 ⑦バイク・自転車 ⑧徒歩

問4 川越へ滞在される(された)期間はどのくらいですか。(ひとつだけ)  
①日帰り ②1泊 ③2泊 ④3泊 ⑤4泊以上  
※川越市内で宿泊した場合のみ、②～⑤を記入。

問5 川越での観光時間はどのくらいですか。(ひとつだけ)  
①1時間程度 ②2時間程度 ③3時間程度 ④半日  
⑤1日 ⑥1日以上

問6 川越にはこれが何回目のご旅行ですか。(ひとつだけ)  
①初めて(1回目) ②2回目 ③3回目 ④4回目以上

(裏)

問7 川越をどのようにしてお知りになりましたか。(複数回答可)  
①テレビ・ラジオ ②ポスター・パンフレット  
③新聞・雑誌 ④旅行会社等のツアー ⑤インターネット  
⑥知人などに勧められて ⑦最初から知っていた(地元の方も含む)  
⑧その他 ( )

問8 川越市マスコットキャラクター「ときも」をご存知ですか?  
①知っている ②知らない

問9 川越のどこを観光されます(ました)か。(複数回答可)  
①蔵造りの町並み ②時の鐘 ③菓子屋横丁 ④善多院 ⑤蔵造り資料館  
⑥川越まつり会館 ⑦市立博物館 ⑧市立美術館 ⑨川越城本丸跡  
⑩蓮華寺 ⑪永川神社 ⑫成田山川越砲台 ⑬小江戸蔵里  
⑭その他 ( )

問10 川越市内において、一人あたりいくらくらい使われます(ました)か。  
(1) 交通費(市内バス、又はタクシー代) 円  
※タクシーを複数人利用の場合、人数で割った額  
(2) 宿泊費 円  
(3) 飲食費 円  
(4) 入館料・入場料 円  
(5) お土産品購入費 円

問11 川越に対しての要望についてお聞かせください。(複数回答可)  
①交通の安全性の向上 ②駐車場の整備 ③観光スポットの充実  
④無料休憩所・トイレの整備 ⑤観光案内板の整備  
⑥ポケットパークの充実 ⑦観光パンフレット・ガイドの充実  
⑧障害者への配慮 ⑨レンタサイクルの充実  
⑩その他 ( )

ご協力ありがとうございました。

また、調査にご協力頂いた観光客に対しては、調査終了後に「ときもポケットティッシュ」を手渡した。

(参考) ときもポケットティッシュ



※ときも…川越市のマスコットキャラクターで、平成22年3月に誕生した。時の鐘とサツマイモをモチーフにしたキャラクター。

## 2-3 観光アンケート調査の結果

### 2-3-1 出発地

アンケート回答者総数 6,283 人のうち、国内が出発地の観光客は 6,137 人、国外が  
出発地の観光客は 123 人だった（23 人は不明）。

以下、出発地の分析を国内と国外とに分けておこなう。

#### (1) 国内

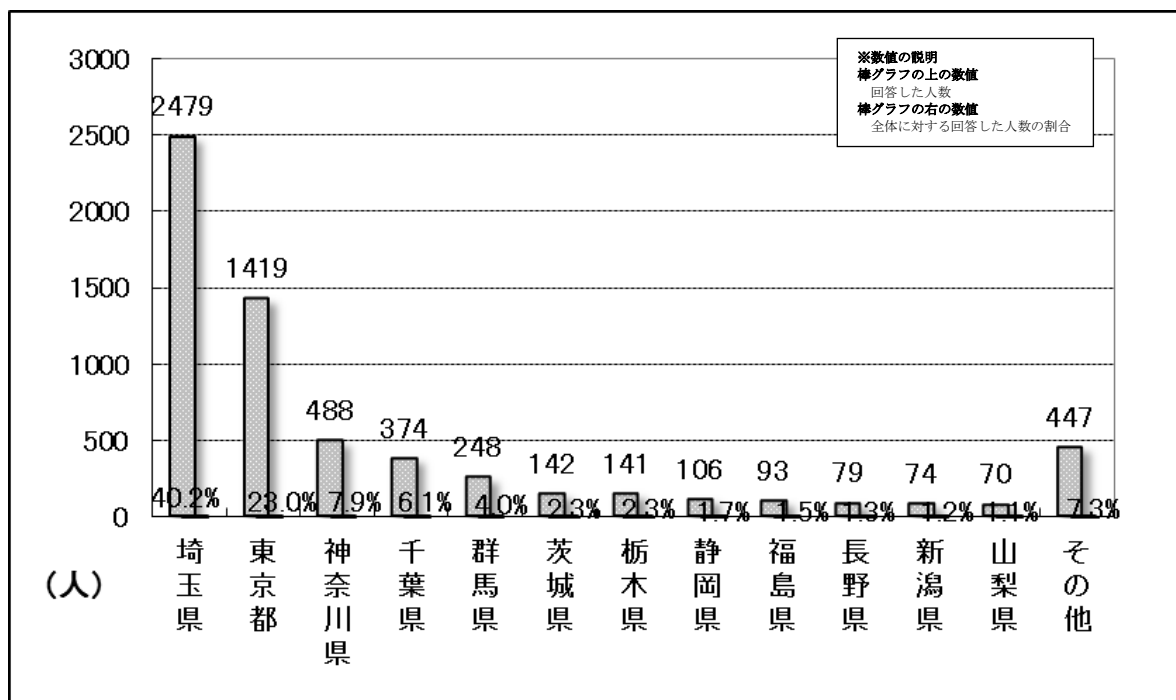
##### ①都道府県別

川越を訪れた観光客の 8 割以上が関東地方の各都県から出発していた（図 3）。特に、  
県内市町村および東京都を出発地とする観光客の割合が 63.2%であり、全体の過半数  
を占める結果となった。これは、首都圏から約 1 時間で訪れることのできる立地特性  
が要因となっているものと考えられる。

また、県内市町村および東京都以外を出発地とする観光客の割合は 36.8%であり、  
前年度より 0.8 ポイント下回る結果となった。

関東地方の各都県以外では、静岡県（106 人・1.7%）、福島県（93 人・1.5%）、  
長野県（79 人・1.3%）から出発した観光客が上位の結果となった。全国の各都道府県  
別出発地は表 2 のとおりである。

（図 3） 出発地



(表 2) 都道府県別出発地

| 地方    | 件数      | 都道府県別（上位順に表記）※カッコ内は人数                                                              |
|-------|---------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 関東    | 5, 361人 | 埼玉県(2,479), 東京都(1,419), 神奈川県(488), 千葉県(374), 群馬県(248), 茨城県(142), 栃木県(141), 山梨県(70) |
| 東北    | 195人    | 福島県(93), 宮城県(33), 山形県(25), 青森県(15), 岩手県(15), 秋田県(14)                               |
| 北陸・信越 | 175人    | 長野県(79), 新潟県(74), 富山県(13), 石川県(7), 福井県(2)                                          |
| 東海    | 164人    | 静岡県(106), 愛知県(36), 三重県(12), 岐阜県(10)                                                |
| 近畿    | 78人     | 大阪府(41), 兵庫県(16), 奈良県(8), 京都府(7), 滋賀県(4), 和歌山県(2)                                  |
| 北海道   | 58人     | 北海道(58)                                                                            |
| 九州・沖縄 | 54人     | 福岡県(23), 熊本県(10), 鹿児島県(9), 宮崎県(5), 沖縄県(4), 長崎県(2), 佐賀県(1)                          |
| 中国    | 37人     | 岡山県(18), 広島県(14), 島根県(2), 山口県(2), 鳥取県(1)                                           |
| 四国    | 15人     | 愛媛県(7), 徳島県(4), 香川県(3), 高知県(1)                                                     |
| 計     | 6, 160人 |                                                                                    |

※各都道府県の地方区分は、郵便事業株式会社発行の郵便番号簿の地方区分に従った。

## ②市区町村別（埼玉県・東京都）

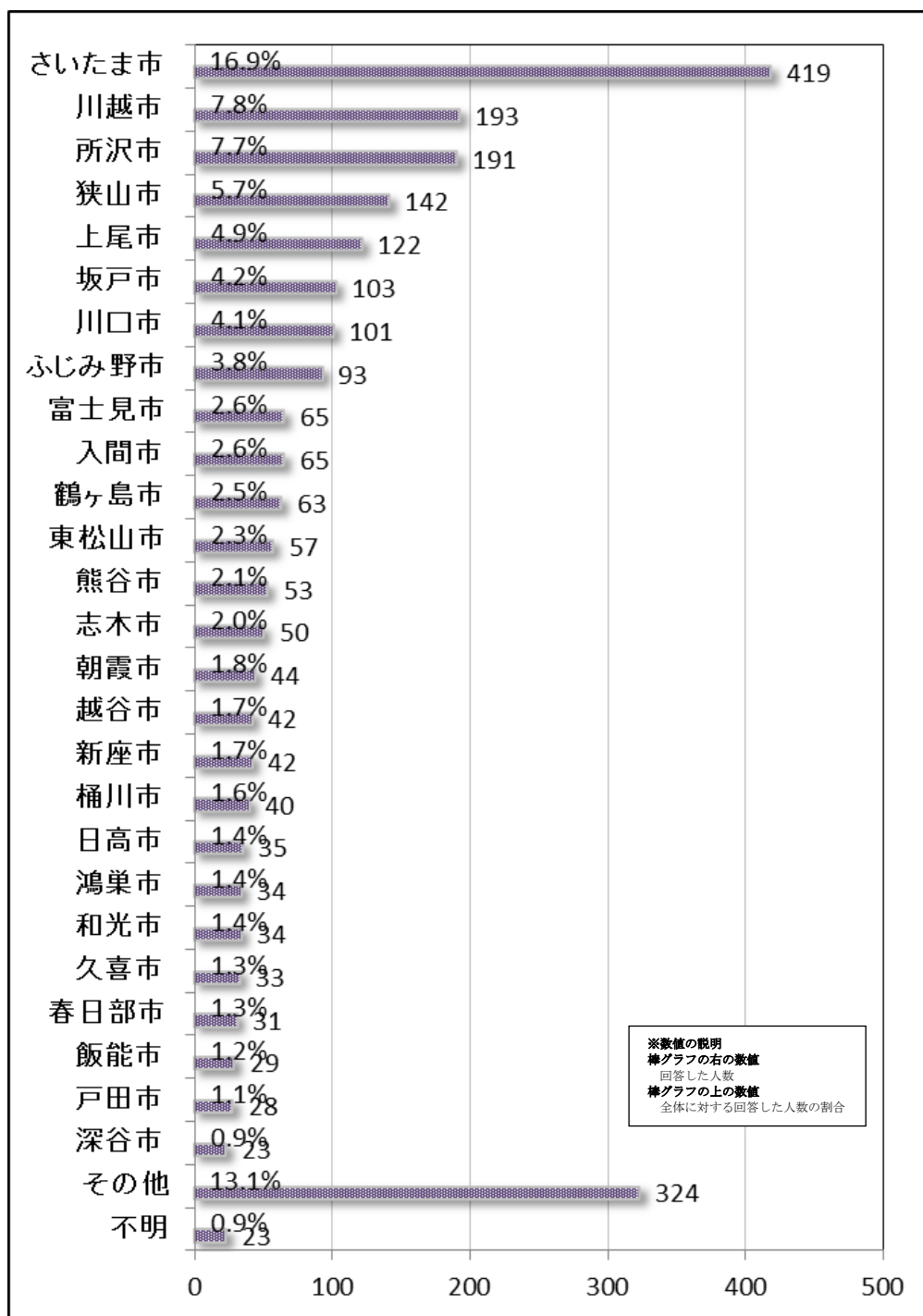
全体の過半数以上に上る 63.2%を占めた埼玉県と東京都の観光客について、市区町村別出発地は、図 4（埼玉県）、図 5（東京都）のとおりとなった。

### (ア) 埼玉県

埼玉県内の上発地で最も多かったのはさいたま市であり、全体の 16.9%を占め、前年よりも 1.5 ポイント増加した（平成 22 年度：15.4%）。距離の近さ、人口の多さ（1,241,661 人、平成 24 年 5 月 1 日現在）、および、JR 川越線、国道 16 号などによる交通アクセスの利便性の良さなどが最上位になった要因と考えられる。

その次に多かったのは、川越市の 7.8%であり、第 2 位という結果だった。続いて第 3 位は所沢市（7.7%）、第 4 位は狭山市（5.7%）、第 5 位は上尾市（4.9%）という結果だった。また、昨年に比べて多かったのは、川口市（4.1%）で、昨年よりも 1.8 ポイント増加した（平成 22 年度は 2.3%）。

(図 4) 埼玉県の市区町村別出発地

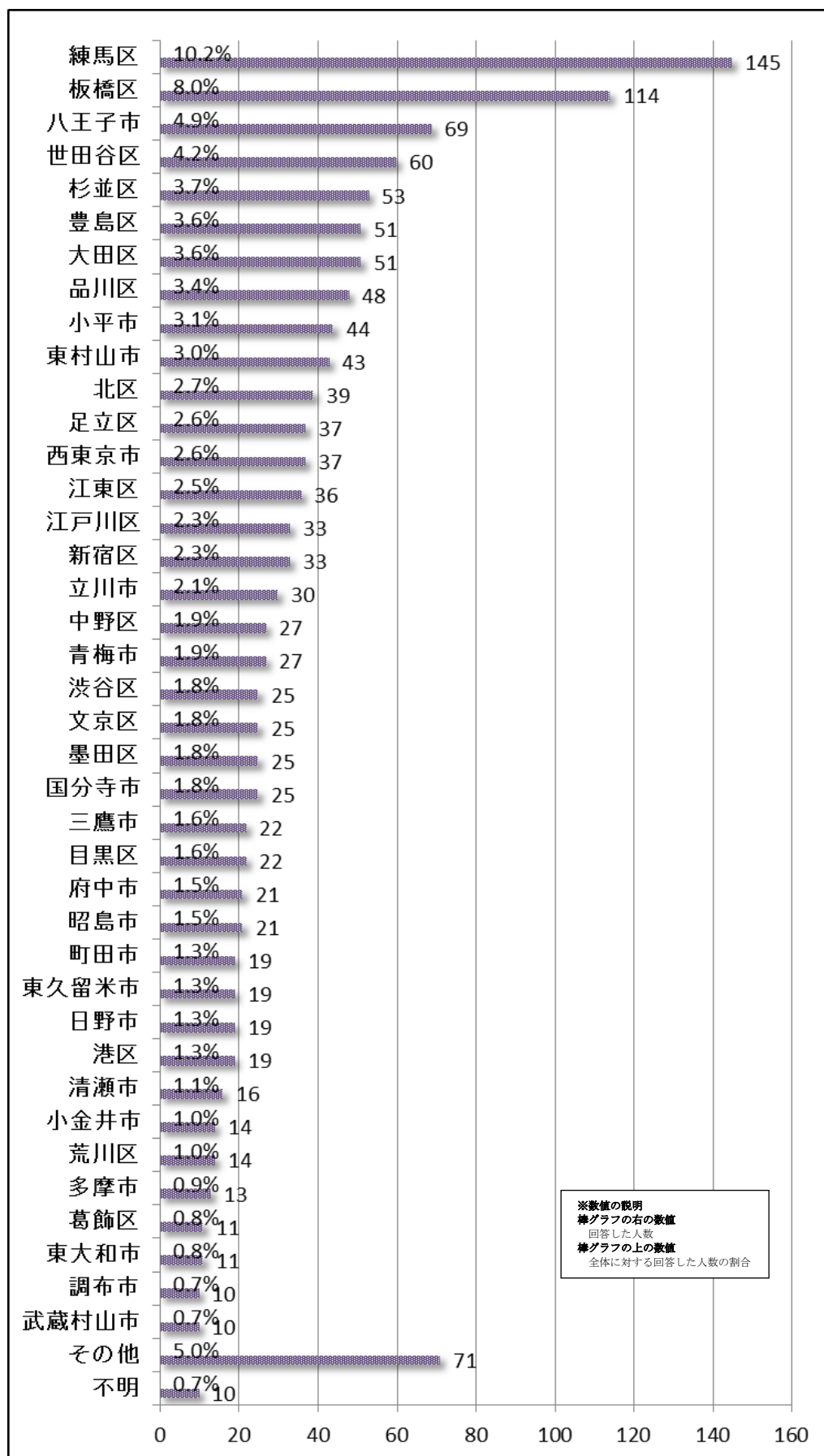


## (イ) 東京都

東京都内の出発地で最も多かったのは練馬区であり、全体の 10.2%を占めた。練馬区が第 1 位となった要因としては、人口の多さ（709,412 人、平成 24 年 5 月 1 日現在）や、西武新宿線、東武東上線、川越街道（国道 254 号）、関越自動車道（練馬 IC～川越 IC）など交通の利便性が高いことが考えられる。

第 2 位は板橋区の 8.0%で、続いて第 3 位は八王子市（4.9%）、第 4 位は世田谷区（4.2%）、第 5 位は杉並区（3.7%）という結果だった。また、品川区は前年よりも 1.6 ポイント上回り、3.4%という結果だった（平成 22 年度は 1.8%）。

(図 5) 東京都の市町村別出発地





## (2) 国外

国外から出発した観光客は 123 人であり、台湾 (29 人)、アメリカ合衆国 (17 人)、韓国 (14 人)、中国 (10 人)、香港 (9 人) が上位となった。(表 3)

川越市内の各案内所(川越駅観光案内所、幸町観光案内所、本川越駅構内観光案内、仲町観光案内所)の統計による平成 23 年の外国人観光客利用者数の上位国は、韓国(964 人)、台湾(951 人)、アメリカ合衆国(950 人)、中国(538 人)で、観光アンケート調査と同様、東アジアとアメリカ合衆国からの観光客が多いという結果となっている。

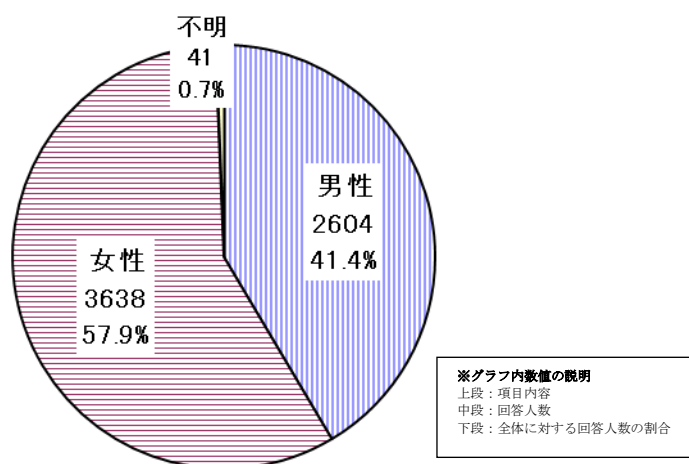
(表 3) 国別出発地

| 国 名                                                  | 回答者数  |
|------------------------------------------------------|-------|
| 台湾                                                   | 29 人  |
| アメリカ合衆国                                              | 17 人  |
| 韓国                                                   | 14 人  |
| 中国                                                   | 10 人  |
| 香港                                                   | 9 人   |
| シンガポール                                               | 7 人   |
| ボツワナ                                                 | 6 人   |
| タイ、ペルー、マレーシア                                         | 各 4 人 |
| オーストラリア、フランス                                         | 各 3 人 |
| イタリア、スペイン                                            | 各 2 人 |
| オーストリア、オランダ、オマーン、スウェーデン、スリランカ、バハマ<br>ベトナム、ベリーズ、南アフリカ | 各 1 人 |
| 計                                                    | 123 人 |

## 2－3－2 性別

性別は、平成 22 年度の調査同様、女性が男性を上回っており、女性が 57.9%、男性が 41.4%という結果となった。（図 6）

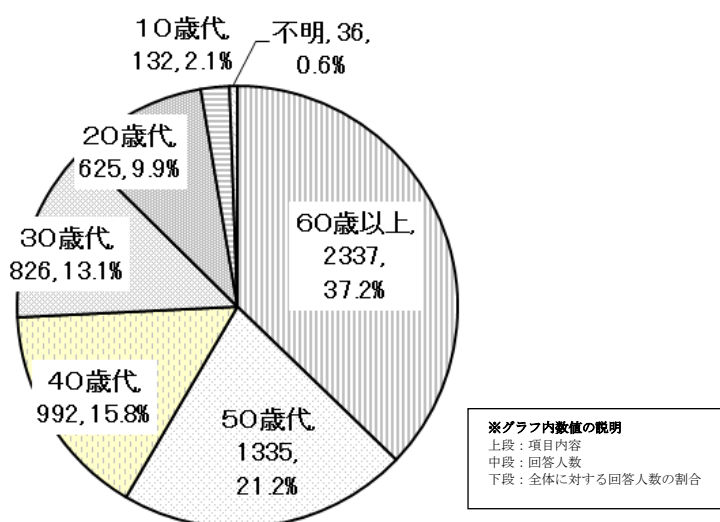
（図 6） 性別



## 2－3－3 年齢

年齢の上昇に比例して、観光客割合も上昇した。（図 7）  
 50 歳代以上の中高年層が過半数の 58.4%という結果だった。

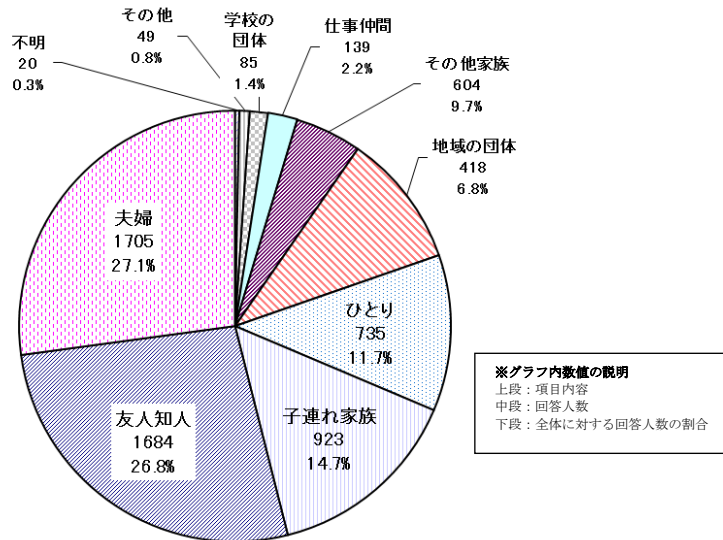
（図 7） 年齢



## 2－3－4 同行者

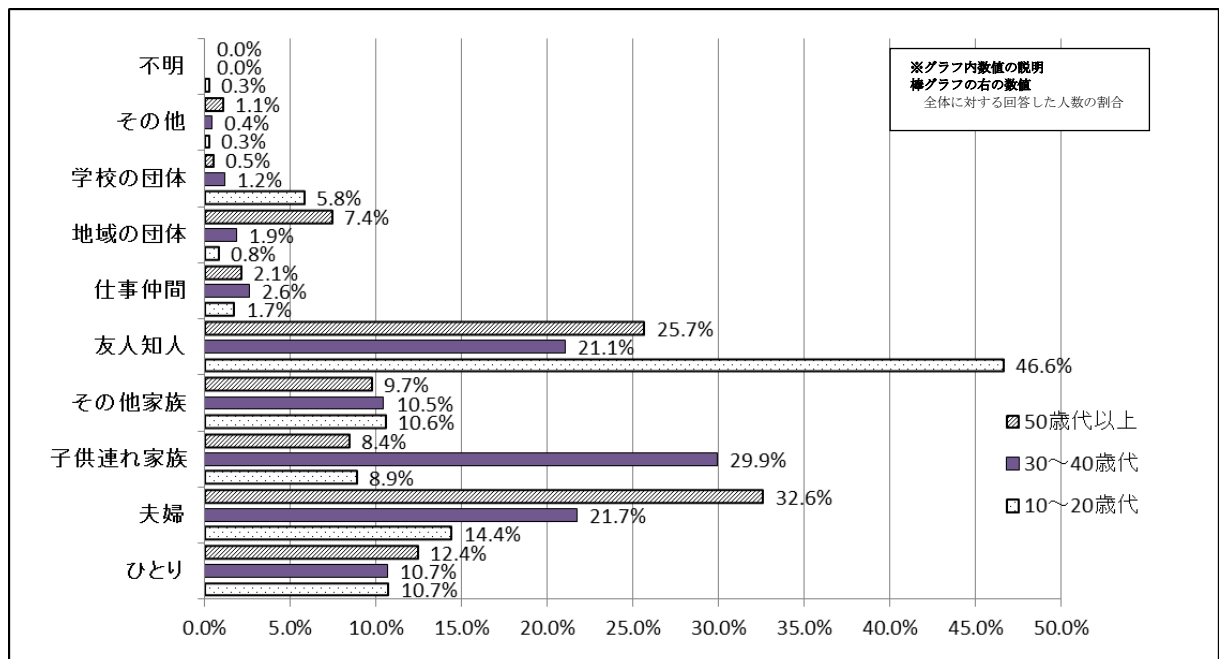
夫婦で川越を訪れる観光客が最も多く（27.1%）、友人知人（26.8%）、子連れ家族（14.7%）やその他家族（9.7%）も含め、家族で川越を訪れる観光客が半数以上を占める結果となった（51.5%）。（図 8）

（図 8） 同行者



また、世代別（10～20 歳代、30～40 歳代、50 歳代以上）の同行者を調べたところ、10～20 歳代では友人知人（46.6%）の割合が最も多く、30～40 歳代では子連れ家族（29.9%）の割合が最も多かった。50 歳代以上では夫婦（32.6%）の割合が最も多かった。（図 9）

（図 9）

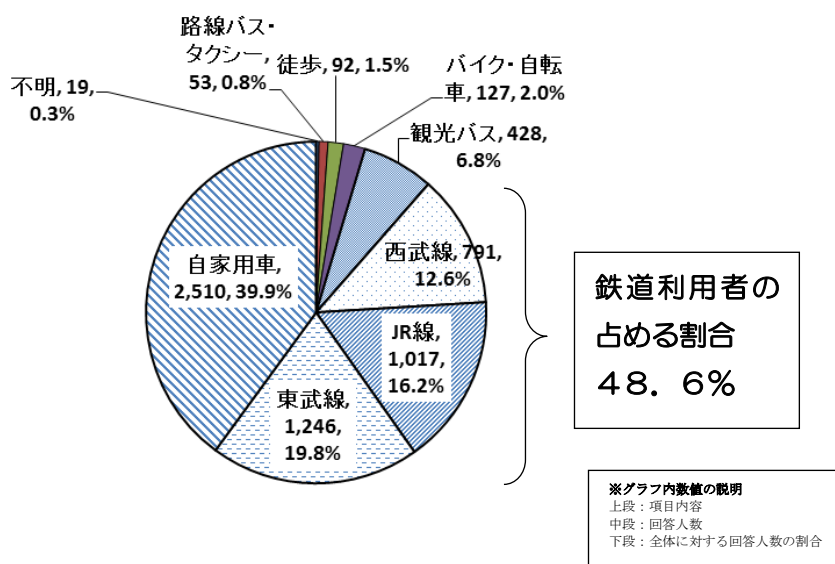


### 2-3-5 交通手段

川越に乗り入れている鉄道 3 社の利用客率を合計すると約半数（48.6%）になり、平成 22 年度の利用客率（48.8%）とほぼ変わらない結果となった。

また、自家用車の利用客率（39.9%）は前年に比べて 2.2 ポイント増加しており（平成 22 年度は 37.7%）、一方で、観光バスの割合は前年に比べて 1.8 ポイント減少した（平成 22 年度は 8.6%）。（図 10）

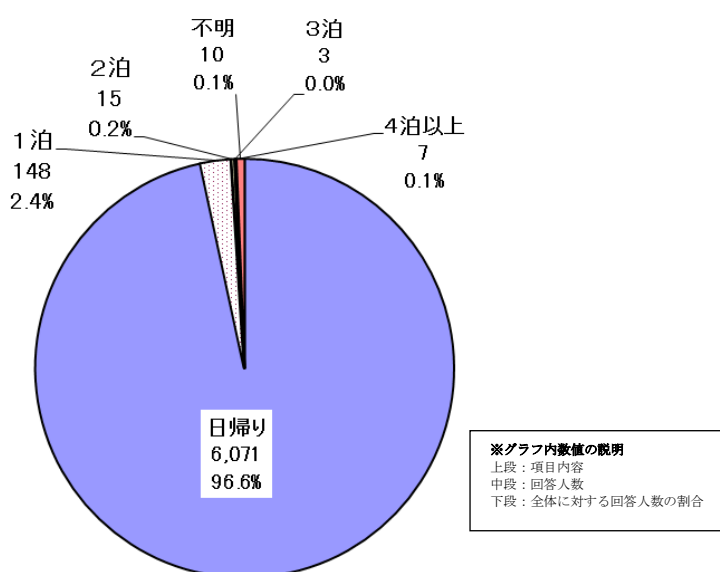
（図 10） 交通手段



### 2-3-6 滞在期間

川越市内の滞在期間は日帰りが 96.6%と、大半を占めた。これは、平成 22 年度（日帰りが 97.0%）と同様の結果であった。（図 11）

（図 11） 滞在期間



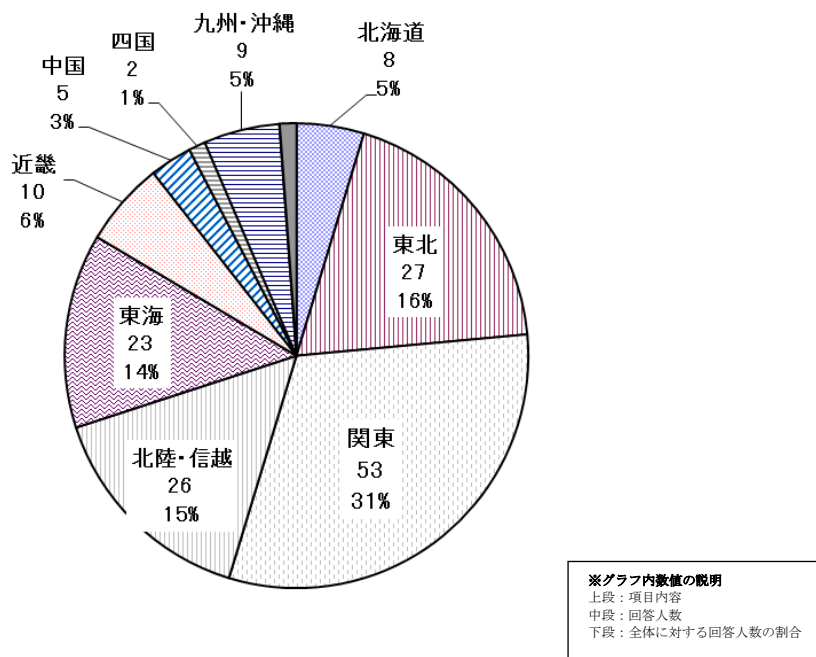
## 2－3－7 宿泊観光客

川越市内の宿泊を伴う宿泊観光客の割合は、3.4%（173 人）だった。国外が出発地の観光客はいなかった。

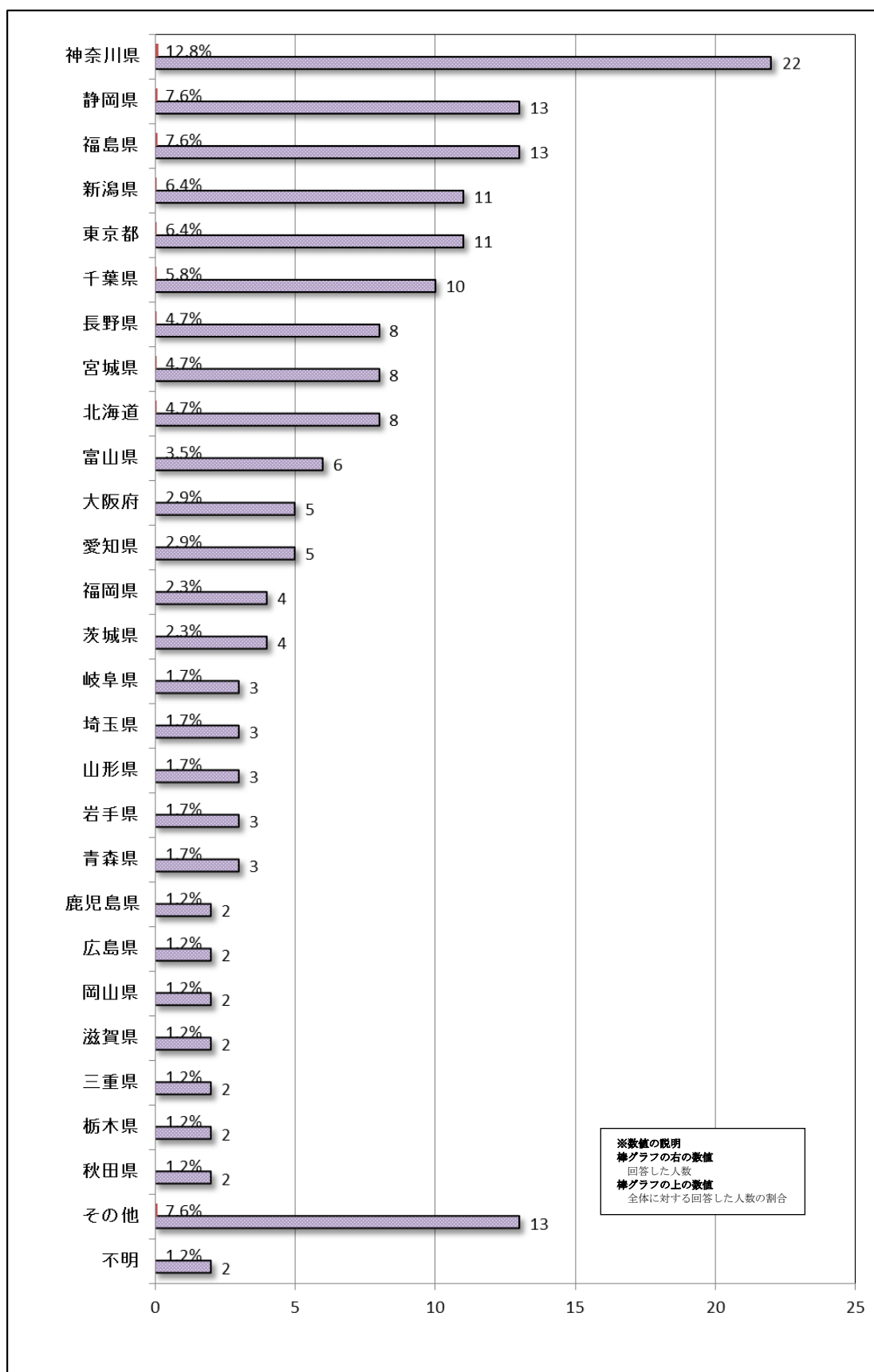
国内の出発地の地方別内訳は(図 12)、都道府県別内訳は(図 13)のとおりである。

都道府県別では、神奈川県が最も多く（22 人、12.8%）、次点は静岡県（13 人、7.6%）だった。また、第 3 位の福島県（13 人、7.6%）が前年に比べて 3.5 ポイント増加しており（平成 22 年度は 4.1%）、逆に東京都（6.4%）が 3.6 ポイント減少した（平成 22 年度は 10.0%）。

(図 12) 宿泊観光客の地方別出発地



(図 13) 宿泊観光客の都道府県別出発地



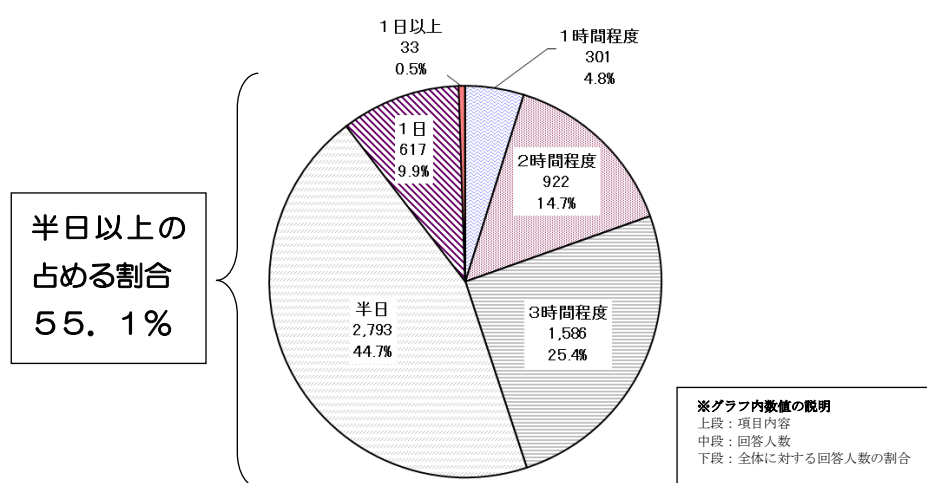
### 2－3－8 観光時間

川越は日帰り観光が主力となっていることから、観光時間が 3 時間程度から半日の観光客が大半を占めた。(図 14)

平成 22 年度以降の観光アンケート調査と比較すると、観光時間が 1～3 時間程度の観光客率の推移は 46.5% (平成 21 年度) →51.2% (平成 22 年度) →44.9% (平成 23 年度) となっており、半日以上の観光客率の推移は 52.6% (平成 21 年度) →48.5% (平成 22 年度) →55.1% (平成 23 年度) となっており、滞在時間の延長が見られる。

滞在時間が延びた理由の一つとしては、平成 23 年の 3 月に川越城本丸御殿の改修工事が終了しており、立ち寄り観光地が増えたことが挙げられる。

(図 14) 観光時間

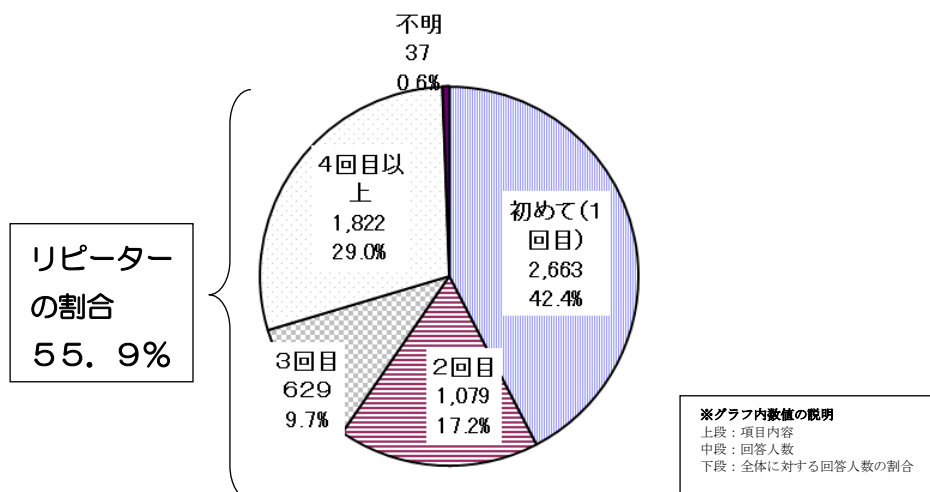


### 2－3－9 来訪回数

川越を「初めて」訪れた観光客は 42.4%、2 回以上訪れている「リピーター」は 55.9% だった。(図 15)

リピーターの中でも 4 回以上訪れているリピーターが多くを占めた (29.0%)。これらは、平成 22 年度とほぼ同じ水準だった。

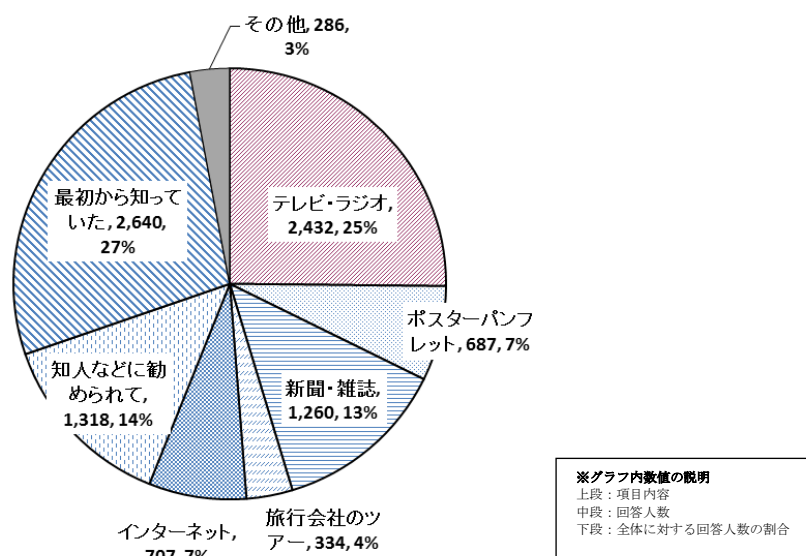
(図 15) 来訪回数



## 2-3-10 認知方法

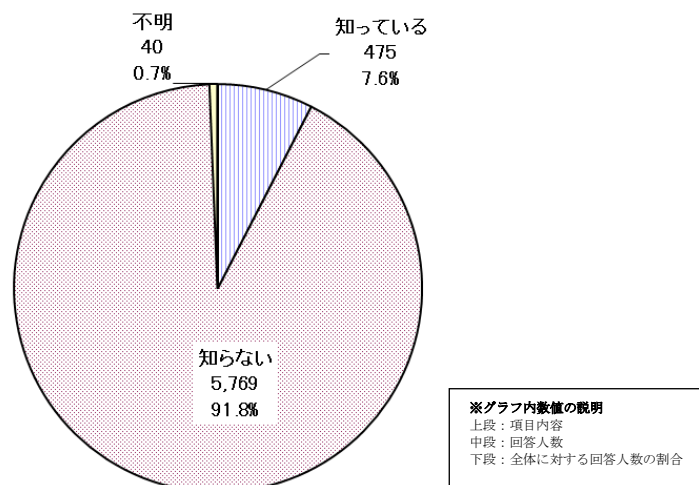
川越を知った方法は、「最初から知っていた（地元の人も含む）」が 27%と最も多かった。（図 16）そのうち、地元の方を除くと 2,349 人となり 24.3%という結果となった。その次に、テレビ・ラジオで知った人の割合が多く、全体の 25%を占めた。「知人などに勧められて」（14%）や「新聞・雑誌」（13%）で知った人も多かった。

（図 16） 認知方法



また、川越の認知方法とあわせて、川越市マスコットキャラクター「ときも」（4ページ参照）の認知度についても調査を行った。「ときも」を知っていると答えた人は全体の 7.6%で、昨年度の調査結果とほとんど変わらない結果となった（平成 22 年度は 7.7%が「知っている」と回答）。（図 17）

（図 17）「ときも認知度」





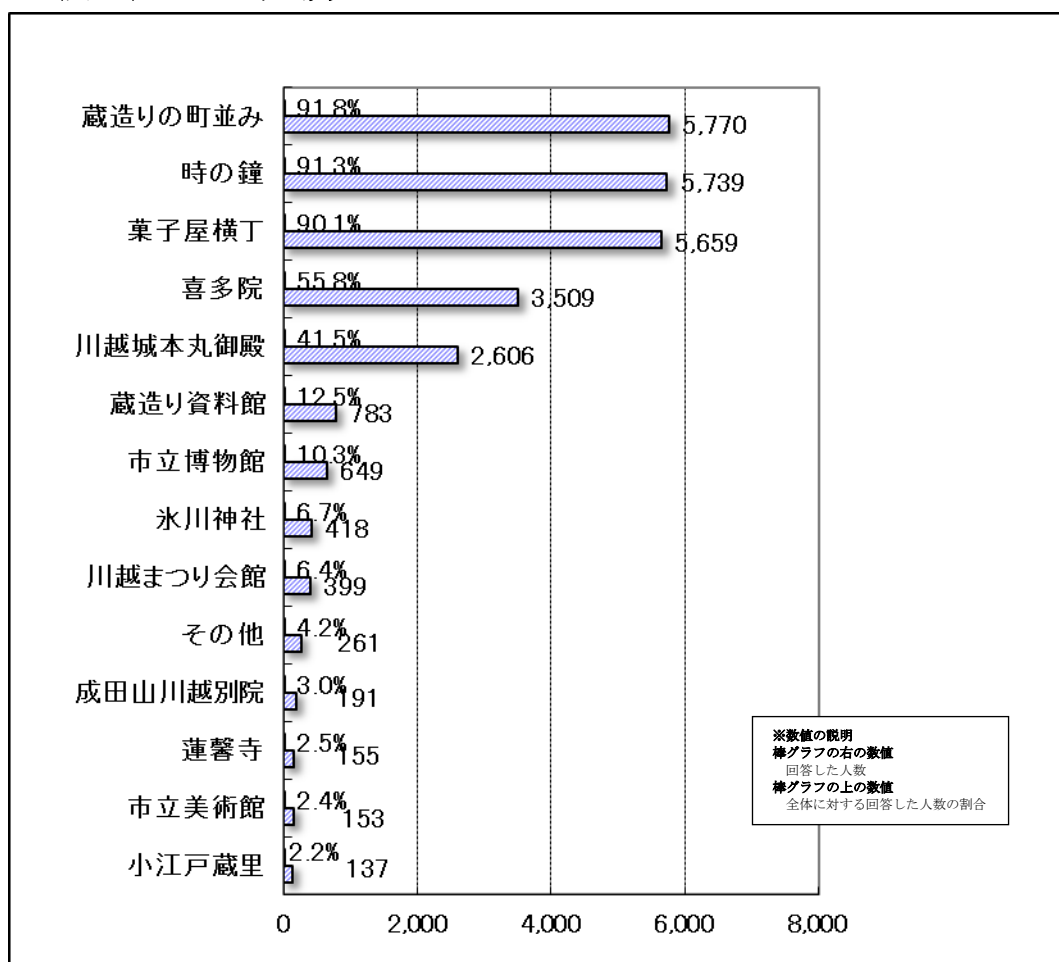
## 2-3-11 立ち寄り観光地

立ち寄り観光地について調査を行ったところ、蔵造りの町並み、時の鐘、菓子屋横丁は約9割の観光客が訪れていた。これは平成22年度の調査とほぼ同様の結果だった。

(図18) その次に多かったのは喜多院で55.8%の観光客が訪れていた。第3位は川越城本丸御殿(41.5%)だった。また、川越まつり会館(6.4%)が昨年度の調査結果よりも5ポイント減少しており(平成22年度は11.4%)、市立美術館(2.4%)も昨年度よりも5.1ポイント少ない結果となった。市立博物館は10.3%で、昨年度よりも2.5ポイント少なかった(平成22年度は12.8%)。今年度の調査から新たに項目として加えた小江戸蔵里は、全体の2.2%の観光客が訪れていた。

また、観光客一人につき、平成22年度は平均3.02箇所の観光地を訪れていたのに対し、平成23年度は平均4.2箇所の観光地を訪れていた。

(図18) 立ち寄り観光地



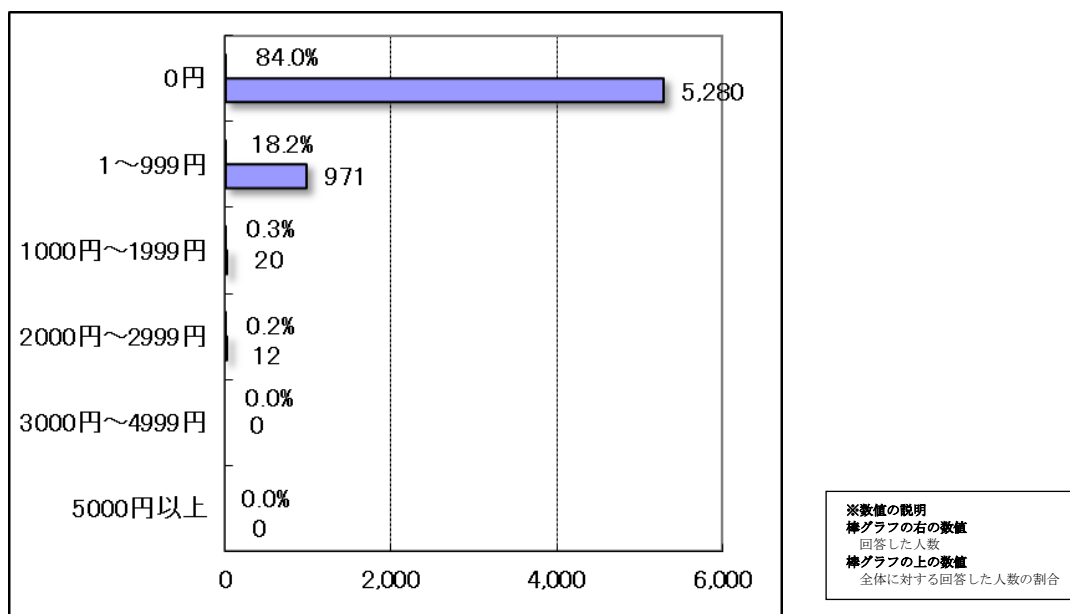
※回答者1人につき、複数回答あり

※割合(%)は、それぞれの項目を回答した人数を、回答者総数(6,283人)で割ったもの

### 2-3-12 交通費

観光客の市内における交通費支出は、「支出なし」が 84.0%と大半を占めており、前年度と比較して 2.8 ポイント上昇した（平成 22 年度は 81.2%）。「支出する」割合はおよそ 18.7%であり、そのほとんどは 1,000 円未満の支出だった。また、一人あたりの平均交通費は 423 円であり、平成 22 年度の 612 円よりも 189 円減少した。（図 19）

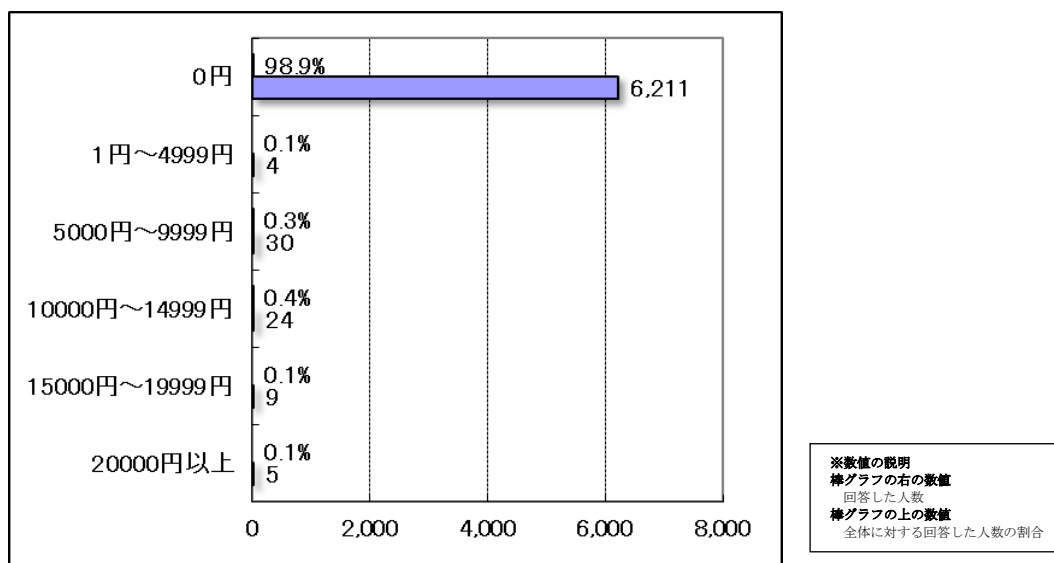
（図 19） 交通費



### 2-3-13 宿泊費

宿泊費を支出しない観光客の割合は全体の 98.9%で、前年度とほぼ同様の結果だった。また、宿泊費を支出する観光客一人あたりの平均宿泊費は 10,375 円で、平成 22 年度の 9,644 円よりも 731 円増加した。（図 20）

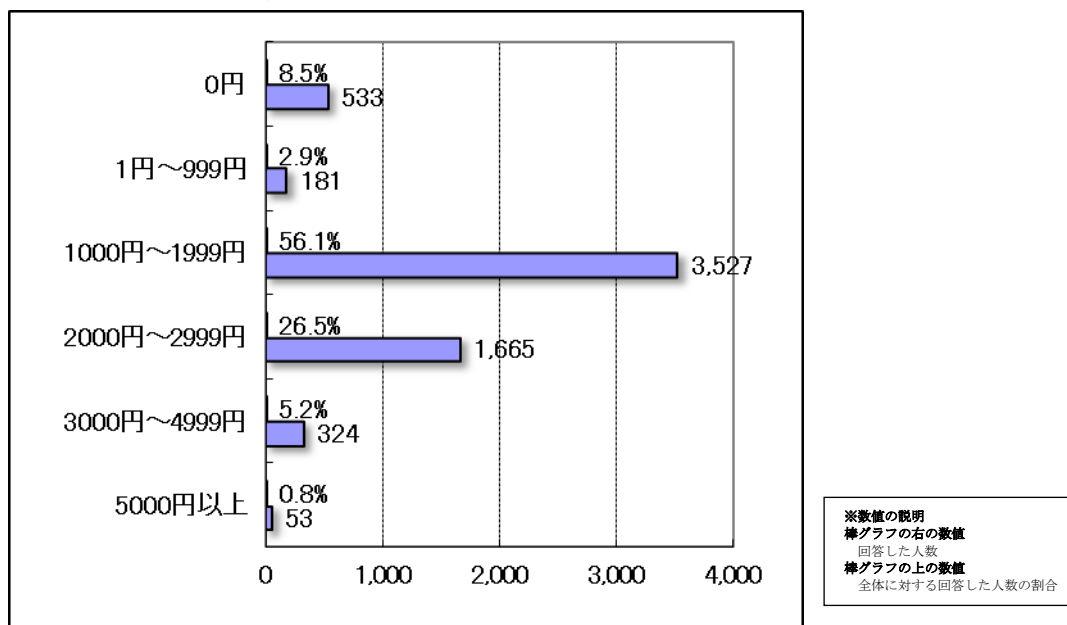
（図 20） 宿泊費



## 2-3-14 飲食費

市内における飲食費は「支出なし」が 8.5%であり、平成 22 年度の 10.3%と比較して、1.8 ポイント減少した。飲食費は 1,000 円台が最も多く、一人あたりの平均飲食費は 1,594 円で、前年度とほぼ変わらない結果となった（平成 22 年度は 1,579 円）。（図 21）

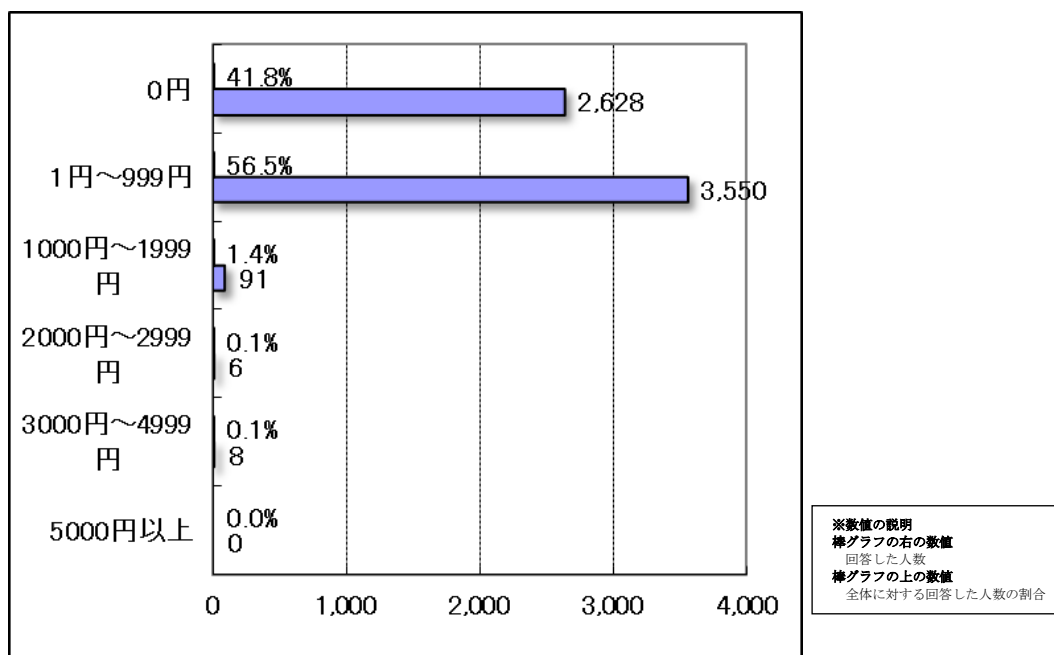
（図 21） 飲食費



## 2-3-15 入館料・入場料

市内における入館料・入場料は「支出なし」が 41.8%であり、平成 22 年度と比較して、7.4 ポイント減少した。入館料・入場料の支出は 1,000 円未満が最も多く、一人あたりの平均入館料・入場料は 409 円で、前年度の 433 円よりも 24 円減少した。（図 22）

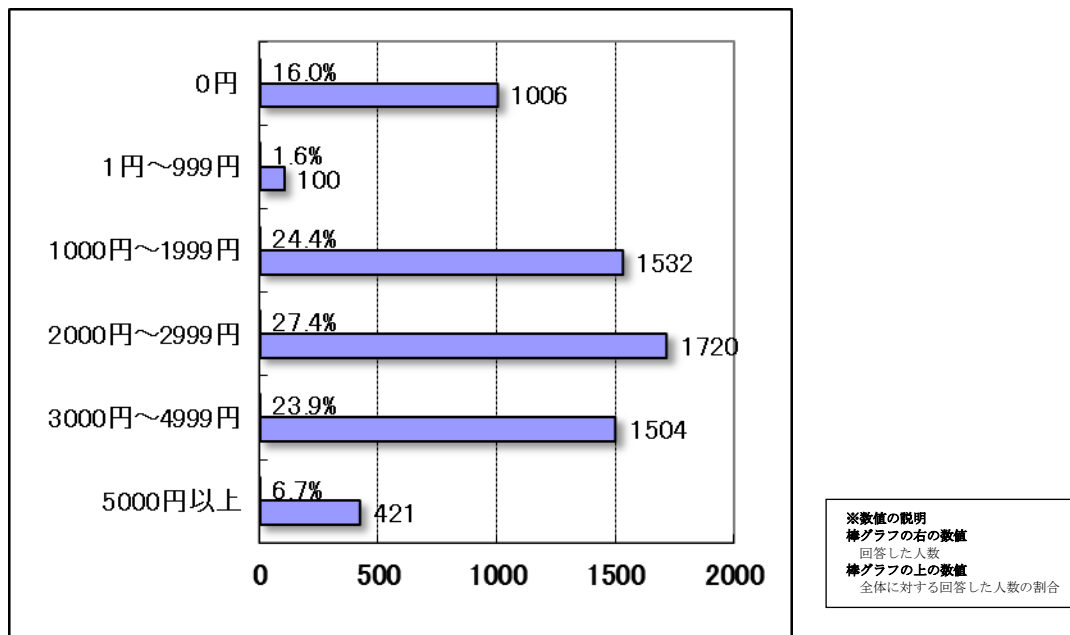
（図 22） 入館料・入場料



## 2－3－16 お土産品購入費

市内におけるお土産品購入費は、「支出なし」が 16%であり、前年度とほぼ同様の結果だった。お土産購入費は、2,000 円以上、3,000 円未満が最も多く、1 人あたりの平均購入額は 2,359 円で、前年度の 2,283 円と比較して 76 円増加した。（図 23）

（図 23） お土産品購入費

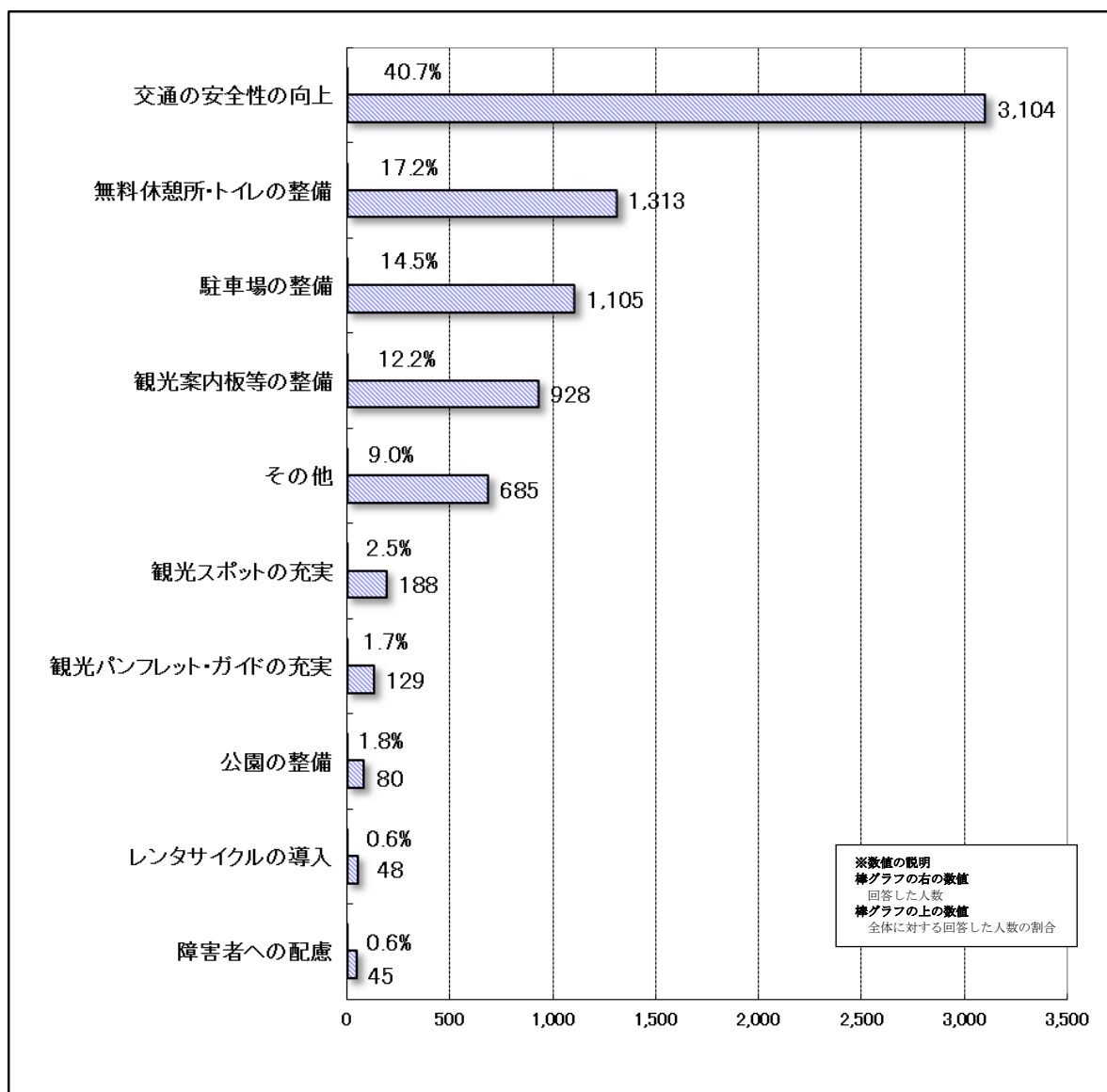


## 2-3-17 要望

「交通の安全性の向上」（40.7%）が要望として最も多く、平成 22 年度の結果よりも 6.2 ポイント増加した（平成 22 年度は 34.5%）。（図 24）

次点は、「無料休憩所・トイレの整備」（17.2%）で、3 番目に「駐車場の整備」（14.5%）でという結果で、これは昨年度の結果と同様だった。

（図 24） 要望



※回答者 1 人につき、複数回答あり。（%）は回答者総数（6,283 人）に対する割合である。

## 2-3-18 意見・感想

川越に対する具体的な意見・感想については、主に下記のような意見があった。中でも一番街の交通安全対策や歩行者天国の実施を求める声が最も多く、多くの観光客が、道幅が狭く交通量の多い一番街に危険を感じていることが窺えた。その他の意見としては、日陰のある休憩所の設置やトイレの増設、観光案内板の整備などを求める意見があった。また、子供が遊べる場所や授乳できる場所を増やして欲しいなど、子連れ家族に対する配慮を求める声もあった。川越の町並みに対しては、景観のさらなる保存・維持を求める声が多く、電線の地中化には好意的な意見が多数見られた。(表4)

(表4) 川越に対する主な意見・感想

- |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ 景観の保存、維持を推進して欲しい。</li><li>・ ごみ箱を設置して欲しい。</li><li>・ 小江戸蔵里は帰りにお土産を買うのに便利。食事処もあり、一息つける。</li><li>・ 歩行者天国を実施して欲しい。</li><li>・ トイレの数を増やしてほしい。</li><li>・ 洋式のトイレが少ない。</li><li>・ トイレをきれいにして欲しい。</li><li>・ 観光案内板が見づらい。</li><li>・ バスを統一して欲しい。</li><li>・ 巡回バスの本数を増やして欲しい。</li><li>・ 道端にパンフレットスタンドがあった方が良い。</li><li>・ 日陰のある休憩所が欲しい。</li><li>・ テレビで川越が紹介されているのを見て、来てみた。</li><li>・ テレビドラマの「JIN-仁-」が撮影されたのを知って、本丸御殿に来てみた。</li><li>・ 電線が地中化されているのが（景観上）良い。</li><li>・ 駅の観光案内所が目立たない。</li><li>・ 子供が遊べるような観光スポットを作って欲しい。</li><li>・ 駐車場の案内が少ない。</li><li>・ サイクリングロードを整備して欲しい。</li><li>・ 観光客用の駐輪場を整備して欲しい。</li><li>・ ホームページを見やすくして欲しい。</li><li>・ 授乳できる場所を増やして欲しい。</li><li>・ 蔵の町から博物館まで距離があるので、間に観光スポットがあると良い。</li><li>・ 喫煙所を増設して欲しい。</li><li>・ もっと観光PRに力を入れて欲しい。</li></ul> |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 3. 観光消費額

観光する際に一般的に消費する「交通費」、「宿泊費」、「飲食費」、「入館料・入場料」、「お土産購入費」の5項目それぞれの平均消費額を調査し、これを基に、観光客一人あたりの平均消費額や川越にもたらされる全体の消費額、さらには、平成22年度と比較してどの程度の変化が見られたかを分析した。

平成23年の入込観光客数は602万7千人だったが、家族単位で訪れる時などは全員が消費活動を行うわけではないので、平成17年からの調査同様に、今回の調査結果からも家族単位で川越を訪れている観光客が多かったため(11ページ、図8参照)、実際に消費活動を行う人数を入込観光客数602万7千人の約40%の241万人と仮定し(平成22年度は609万7千人の約40%である243万人を用いた)、この数値から消費活動率などを踏まえて、川越にどの程度の消費がもたらされたかを試算した。

(表5) 消費項目別の観光客平均消費額

| 項 目     | 消費活動率<br>※① | 平均消費額<br>※② | 消費活動人数<br>※③ | 消費総額<br>※④      |
|---------|-------------|-------------|--------------|-----------------|
| 交 通 費   | 16.0%       | 423 円       | 384,725 人    | 162,689,384 円   |
| 宿 泊 費   | 1.1%        | 10,375 円    | 27,617 人     | 286,530,320 円   |
| 飲 食 費   | 91.5%       | 1,594 円     | 2,205,555 人  | 3,516,079,914 円 |
| 入館料・入場料 | 58.2%       | 409 円       | 1,401,966 人  | 572,807,481 円   |
| お土産品購入費 | 84.0%       | 2,359 円     | 2,024,124 人  | 4,774,431,323 円 |
| 計       |             |             |              | 9,312,538,421 円 |

※①消費活動率…アンケート回答者総数(6,283人)に対する、各項目で「支出あり」と回答した観光客の割合。

※②平均消費額…各項目において、観光客1人当たりが消費する平均金額。

※③消費活動人数…各々の項目で消費活動を行う人数。消費活動を行う対象となる観光客数241万人に各々の消費活動率を乗じたもの。

※④消費総額…各々の項目で消費される総額。平均消費額に消費活動人数を乗じたもの。

消費総額で最も高かったのは、お土産品費の約47億円で、最も低かったのは交通費の約1億6千万円だった。また、平均消費額で見ると、最も高かったのは、宿泊費の10,375円で、最も低かったのは、入館料・入場料の409円だった。

また、各々の消費総額を合計し、川越にもたらされる消費額全体を試算したところ、約93億1,200万円となった。平成22年度の結果(約91億9,200万円)と比較すると、約1.3%の増加となった(図25)。

各項目別で見ると、交通費は前年度に比べ約41.7%落ち込んだものの、その他の項目

における消費額については、宿泊費が約 6%増、飲食費の消費額が約 2.2%増、入館料・入場料が約 7.1%増、お土産品費が約 2.3%増と、いずれの項目も前年度に比べ増加した（表 6 参照）。

（表 6）平成 22 年度の消費項目別の観光客平均消費額

| 項 目     | 消費活動率<br>※① | 平均消費額<br>※② | 消費活動人数<br>※③ | 消費総額<br>※④      |
|---------|-------------|-------------|--------------|-----------------|
| 交 通 費   | 18.8%       | 612 円       | 456,185 人    | 279,179,481 円   |
| 宿 泊 費   | 1.2%        | 9,644 円     | 28,025 人     | 270,273,763 円   |
| 飲 食 費   | 89.7%       | 1,579 円     | 2,180,111 人  | 3,441,812,999 円 |
| 入館料・入場料 | 50.8%       | 433 円       | 1,233,878 人  | 534,779,049 円   |
| お土産品購入費 | 84.1%       | 2,283 円     | 2,044,267 人  | 4,666,645,099 円 |
| 計       |             |             |              | 9,192,690,391 円 |

消費額が増加した主な要因の一つとしては、平成 23 年度観光アンケート調査における観光客の滞在時間が前年度に比べて伸びており（P15、図 14 参照）、それに伴って観光客の消費動向に変化があったことが考えられる。

観光客一人あたりの平均消費額については、「日帰り観光客」、「宿泊観光客」、「観光客全体」に分けて算出した。（表 7）

また、宿泊観光客については、「宿泊費を支出する観光客」（ホテルや旅館に宿泊と推定）と「宿泊費を支出しない観光客」（家族や友人の家などに宿泊と推定）がいたため、両者を区別して算出した。

（表 7）滞在形態別の観光客平均消費額

| 項 目            | 人数（人） | 平均消費額（円） |
|----------------|-------|----------|
| 宿泊観光客（宿泊費支出あり） | 61    | 17,528   |
| 宿泊観光客（宿泊費支出なし） | 112   | 4,990    |
| 日帰り観光客         | 6,110 | 3,707    |
| 全体             | 6,283 | 3,864    |

「宿泊費支出あり」の宿泊観光客の平均消費額は 17,528 円、「宿泊費支出なし」の宿泊観光客は 4,990 円、日帰り観光客は 3,707 円だった。

また、観光客全体では 3,864 円だった。3,783 円だった平成 22 年度と比較すると、81 円増加した。

次に、世代別（10～20 歳代、30～40 歳代、50 歳代以上）で平均消費額を調べたところ

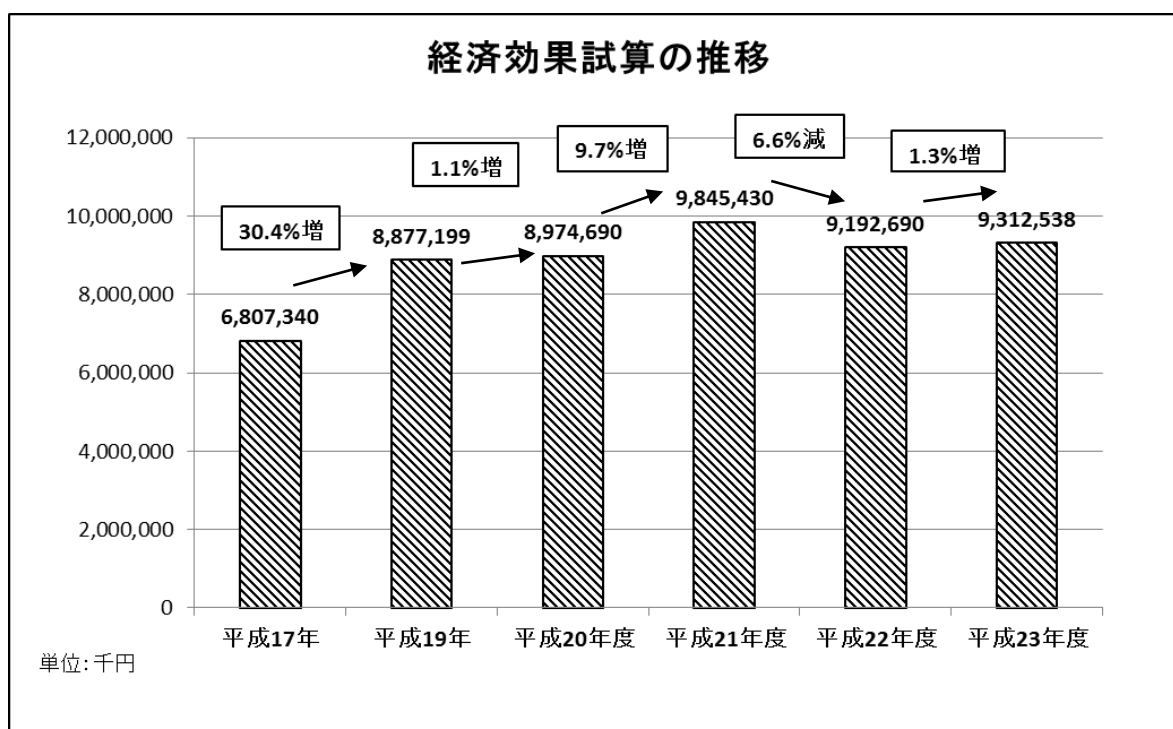


ろ、10～20 歳代の平均消費額は 3,222 円、30～40 歳代の平均消費額は 3,726 円、50 歳代以上の平均消費額は 4,063 円と、年代が上がるにつれ、平均消費額が増えていることが分かった。（表 8）

（表 8）世代別の観光客平均消費額

| 項 目      | 人数（人） | 平均消費額（円） |
|----------|-------|----------|
| 10～20 歳代 | 757   | 3,222    |
| 30～40 歳代 | 1,818 | 3,726    |
| 50 歳代以上  | 3,672 | 4,063    |
| 全体       | 6,283 | 3,864    |

（図 25）経済効果試算の推移



※平成 18 年については、観光アンケート調査を行っていない。

※数値の説明  
棒グラフの上の数値  
消費総額の合計